

天竜峡の冬景色

## 目次

●年頭所感 2009年	2
●飯田市立病院「患者の権利と責任」	3
●ねっとわーく	
吉川医院	4
康野整形外科リウマチクリニック	5
●医事課からのお知らせ	4～5
●家庭でできる リハビリテーション	6
麻痺した手のケアについて	
●検査の窓	7
脳波検査ってどんな検査?	
●話題の広場	7
ブルーサークル	
クリスマスコンサート	
ご寄付をいただきました	
●ご案内	8
保険証の提示について	
●職場紹介	8
外来(外科系)の紹介	
●新任医師の紹介	8

### 飯田市立病院 基本理念

私たちは、地域の皆さんの健康を支え信頼される医療を実践します

### 飯田市立病院 基本方針

- 1 私たちは、安全・安心で良質な医療を提供します
- 2 私たちは、患者さんの権利と意思を尊重し、地域の皆さんに開かれた病院づくりを行います
- 3 私たちは、地域の保健、医療、福祉機関と密接に連携します
- 4 私たちは、教育・研修機能を高め、医療水準の向上と人間性豊かな医療人の育成に努めます
- 5 私たちは、公共性と経済性を考慮し、健全な病院経営に努めます

### 飯田市立病院 理念行動指針

私たちは、誠意 熱意 創意をもって医療を実践します

# 年頭所感 2009年

飯田市立病院 院長 千賀 脩



平成21年の新春を迎えるにあたりまして、皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年はアメリカで始まった金融危機がヨーロッパに広がり、さらに全世界へと波及し、世界恐慌といわれるほどの経済危機が押し寄せてきています。

政治の世界では、11月にアメリカ大統領に若手民主党議員のオバマ氏が選出され、その手腕に全世界が注目しています。日本では9月に福田前首相が突然辞任し、麻生首相が選ばれましたが、発言に一貫性がないことや、たび重なる失言、政策の先送りなどで支持率の低下はとどまることをしらず、政権交代もありうる状況になっています。

5月の中国の四川省の大地震や、日本を襲ったゲリラ豪雨など、相変わらず災害が多く、今年もまた未曾有の災害がくるのではと不安になっています。

その中でも明るい話題では、ノーベル賞に日本人が同時に4人も選ばれたこと、夏には北京オリンピックが盛大に開催され、水泳の北島選手や、女子の柔道、レスリング、ソフトボールなどが金メダルを獲得し、その他バ

トミントン、サッカーと日本女性が頑張ったオリンピックでもありました。最近ではフィギュアスケートの浅田真央選手が華麗な演技をみせ見事優勝したことは、記憶に新しいところです。

昨年の漢字は「変」という字が選ばれましたが、悪い意味の変ではなく、オバマ次期大統領が口にする「Change」という良い方向に変化することを期待しています。

さて、新年にあたり昨年を振り返りながら今年の病院事業の方針を述べ、年頭の所感とさせていただきます。

昨年は自治体病院にとっての課題の一つである公立病院改革プランを作成し、今年3月までに提出することになっています。3年後までに経営状態を改善する目標を立てたプランで、これを達成するために職員一同必死で頑張っていくつもりです。

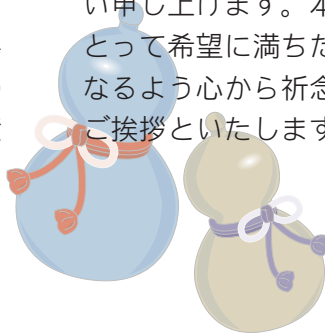
医療スタッフ、特に医師・看護師不足による地域医療の崩壊が昨年も社会問題となっており、当院でも産科医不足などの影響で、昨年4月より里帰り出産の制限をしました。その後、助産師外来を改築し内容を充実させ、

医師の負担軽減をはかりました。その結果、信大より産婦人科医が1名増員となり、少しずつ出産制限を解除しています。

眼科に関しても常勤医師の退職にともない、昨年4月から外来診療のみとなっています。このように医師不足は、当院にも影響がでており、何とかはやく常勤医にきて頂き、以前の状態に戻すようにつとめています。

高松分院は、19年3月に閉院になり、現在は仮設の診療所として機能しています。今後は、老健施設として「ゆうゆう」を移転新築する予定で、12月に安全祈願祭をおこない、建設工事も始まりました。この施設は診療所や地域リハビリテーション支援センターを併設しており、あらたに再出発する予定です。

最後になりましたが、地域に信頼される病院をめざしてさらに頑張りたいと考えていますが、関係各位の皆様の深いご理解と、さらなるご支援をよろしくお願い申し上げます。本年が皆様にとって希望に満ちた明るい年となるよう心から祈念して新年のご挨拶といたします。



近年、患者のたらいまわしや診療制限、病院の経営危機や突然の廃止といったニュースがあふれ、全国的に医療崩壊が進んでいます。また、自治体病院に対して「公立病院改革ガイドライン」が示され、「改革プラン」を策定し経常黒字を3年以内に達成しなければならないなど、私たちはかつて経験したことのないほどの厳しい状況に立たされていると言えます。このような時こそ、確固とした理念を持って進むべき道を見極めていくことが重要であり、ついでには、当院の基本理念や基本方針等を見直しました。

これを契機に基本理念や基本方針等を再度認識し、当院や私たちの果たすべき役割や、今何をなすべきかを見極め業務を進めていきます。

## 飯田市立病院「患者の権利と責任」

飯田市立病院は、患者さんの権利と意思を尊重し、信頼される良い医療を行うために、患者さんの権利と守っていただきたい責務を定めます。

### 1. 良質の医療を受ける権利

適切で良質で最善の医療を公平に継続して受ける権利があります。また、必要な時にはいつでも、医療従事者の援助・助力を求める権利があります。

### 2. 選択の自由の権利

病院や医師を自由に選択し、または変更する権利があります。

### 3. 情報を知る権利

治療や症状について真実を知り、担当医師や受け持ち看護師より納得ができるまで十分に説明を受ける権利があります。その説明に対して納得がいかない場合、担当医師以外の医師に意見を聞く権利があります。

### 4. 自己決定の権利

十分な説明を受け、治療方法を自らの自由意思で選択し、治療を受ける権利と治療を受けることを拒否する権利があります。

### 5. 機密保持をえる権利

診療や治療で医師や従事者が知りえた全ての患者情報、全てのプライバシーの機密保持をえる権利があります。

患者さん本人の承諾なくして、第三者に開示されない権利があります。

### 6. 尊重される権利

自ら病を克服しようとする主体として、医療の場において常にその生命・身体・人格が尊重される権利があります。

人間的な終末期ケアを受ける権利を有し、できる限り尊厳を保ち、安楽に終末期を迎えるためのあらゆる可能な助力を受ける権利があります。

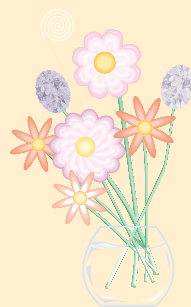
### 7. 情報を提供する責務

医師をはじめとする医療提供者に対して、自身の健康に関する情報をできるだけ正確に提供する責務があります。

### 8. 医療に協力する責務

全ての患者さんが等しく上記の権利を行使するためにも、病院の規則を守り、提供される医療に協力して、できるだけ健康的な生活習慣を身につける責任があります。

また、他の患者さんの治療に支障を与えないように配慮する責務があります。





# 吉川 医院

(豊丘村神稲)



## 飯田市立病院OBとして

吉川医院 院長 吉川 史

私が豊丘の地に開業して28年目を迎えました。昨年は当地豊丘村は甚大な雹の被害に遭い、村の祭り運動会その他のイベントが次々と中止になり大騒ぎでした。今年はより良き年でありますよう願うばかりです。私は大学卒業後、母校東京医科大学第3内科に入局し、約10年間勤務しました。主に血液学（白血病・再生不良性貧血・リンパ腫等）を研究し、その他に消化器・透視・内視鏡・内分泌・糖尿病・甲状腺・膠原病等の診療グループにも属しており、日本血液学会・日本臨床血液学会等の掲載論文にて医学博士の学位を取得致しました。指導医としてこれからという時に、実家の母が長らく患っていた糖尿病に加え脳梗塞にて倒れ、止む負えず信州に帰ることを決心致しました。当時の市立病院は慶応大学病院の関連病

院でありましたが、以前より市長・院長からの要請もあり市立病院にお世話になる事になりました。高齢の開業医である父のことを考えますと、いずれ父の医院を継承しなくてはならず、辞める時には道義的責任を負わないという約束の元に、勤務医としてスタート致しました。東京医科大学から研修医の派遣も受け市立病院は順調に稼働しておりましたが、4年程して、今度は父が心筋梗塞・脳梗塞で倒れ昭和56年8月にこの地で医業継承致しました。旧吉川医院は祖父の代からの開業の地ではありませんが、駐車場のスペースが取れずこれからの医院の形体として不便であった為、神稲建築資材置場跡地900坪を譲り受け十分な駐車スペースを確保し医療機器も新たに導入する等、いちからのスタートでした。今

私は開業医として自分の出来る範囲をわきまえ疾患ばかりでなく「患者を診る」ことを心掛けております。市立病院登録医として適切な医療をする為、飯伊地域の中核である市立病院と診療機能の交流を通し、市立病院のスタッフと緊密な連携が出来ていると自負しております。これからも地域医療に貢献できる医療機関として頑張っていきたいと考えております。



吉川先生(前列中央)とスタッフの皆様

所在地 〒399-3202 豊丘村神稲549-4

☎0265-35-2010

診療科目 内科、小児科

受付時間 8:30~12:00、13:30~18:00

往診 有

休診 第2土曜日、日曜・祝日

駐車場 有



## 医事課からの おしらせ

昨年4月より医師事務作業補助者(医療クラーク)を配置しています。医師の事務負担の軽減が図られ、患者さんと話す時間が増えています。

### 目的

地域の急性期医療を担う保険医療機関において、病院勤務医の負担の軽減に対する体制を確保することを目的としています。

### 具体的な業務

- 医師または歯科医師の指示の下で行います
- ◎診断書などの文書作成補助
- ◎診療記録(カルテ)への代行入力
- ◎診療に関するデータ整理



## 登録医紹介

登録医とは共同診療、検査機器の利用、研修参加などを一緒に行なって、より良質な医療を地域の皆様に提供するため、協力いただいている医療機関です。

私は高校を卒業するまで飯田市松尾に育ち、生活してまいりました。昭和大学医学部に進学が決まりこの地を離れました。以来、約29年間、関東、北関東を中心に生活し、医療に従事してまいりました。親の病気を契機にこの地に戻り、開業を決意したさいでございます。それから足かけ9年、何とか皆様のお役に立てるよう、がんばってまいりました。私が専門にしております、関節リウマチの治療はここ10年あまり、めざましく進歩してまいりました。劇的にリウマチ患者さんの寛解導入率が上がり、一般の人と何ら変わらない生活の出来ている患者さん

## 康野整形外科リウマチクリニック

(飯田市松尾上溝)



## よりよきリウマチ治療の中での医療連携

康野整形外科リウマチクリニック 院長 康野 公則

が増えております。第一にMTX (リウマトレックス) の導入、最近では生物学的製剤の導入とリウマチ治療の革命が起こっております。しかし、新しいクスリはよりよい効果が期待される一方で副作用にも注意が必要となっており、重篤な副作用も増えております。小さな無床の診療所では対処できない副作用も起こっております。

近年の急速なリウマチ医療の改革に対応するためには、緊密な医療連携が必要と考えられます。飯田市立病院

の先生方には日頃お世話になっていることに対し、大変感謝しております。



康野先生（前列中央）とスタッフの皆様

**所在地** 〒395-0811 飯田市松尾上溝3152-4

**☎**0265-52-3535

**診療科目** 内科、リウマチ科、整形外科、  
リハビリテーション科、皮膚科

**受付時間** 9:00~12:00、15:00~18:00

**往診** 有

**休診** 土曜日午、日曜・祝日 **駐車場** 有



## 1の 仕事風景



診療部や看護部をはじめ各部門の皆さんと連携をとりながら、円滑で充実した業務内容をめざします。

### 麻痺した手のケアについて

脳卒中などで手の運動機能の低下や感覚の麻痺が生じ、動かしにくくなったり硬くなったりすることがあります。使いにくくなってしまった手の状態をできるだけ悪化させず、今もっている手の能力を維持するためのケアについて、簡単にご紹介します。

#### 手の体操をしましょう

肩・肘・手首・指の各関節をゆっくりと動かしましょう。速くたくさん動かすよりも、できるだけゆっくりと、リラックスしながら動かせる範囲いっぱい動かす方が効果的です。



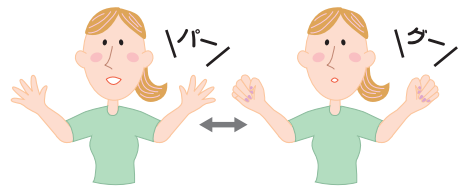
肩をすくめ、  
ゆっくりと  
下ろします



できるだけ肘を曲げない  
ように、腕を前・横・後  
ろに動かします



指を組んで、  
手首を倒したり  
回したりします



指を握ったり  
開いたりします

#### 両手を使いましょう

両手で行った方がスムーズにできる動作は、両手を使うことを心がけましょう。



おぼんなど大きめの物を持つ時、  
使いにくい手も添えましょう



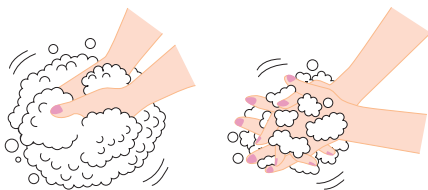
布団をかける時、両手で持って  
ゆっくりとかけるようにしましょう



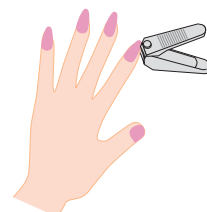
顔を洗う時、できるだけ両手で  
水をすくってみましょう

#### いつも清潔にしましょう

片手が使いにくいことで、手洗いの機会も減ってしまいます。意識して両手を洗うようにしましょう。特に麻痺のある手は汚れがたまりやすくなります。お湯の中で、石鹸を使って指と指の間まで丁寧に洗うと気持ち良く、手にとっても良いと思います。また、同時にお湯の中で指を動かすと良いでしょう。



指と指の間まで丁寧に洗いましょう



爪も短くしていきましょう

## 検査の窓

その11

あまり一般的な検査ではありませんが、「脳波」という脳の検査があります。

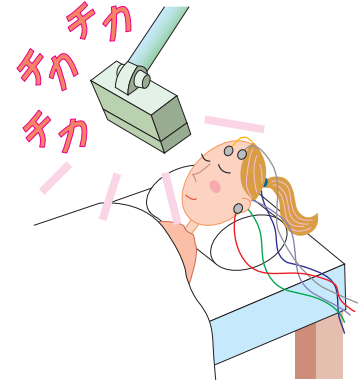
突然意識を失ったり、けいれんがあったりした時に実施して、脳の活動に異常がないか調べます。脳が活動する時にごく小さな電気が発生します。脳波はその電気を波として記録したものです。この検査はてんかんの診断や、意識障害の評価、また脳死判定にも使われます。

検査は頭に電極を一定の間隔でつけてから、まず目をつぶった状態で記録をします。リラックスリズムとして有名なアルファ波はこの時、頭の後ろの部分に出ます。

その他に、異常波が出易い状態にして記録します。睡眠が一番良い方法です。脳波検査をする機会がありましたら検査中に眠れるように寝

## 脳波検査ってどんな検査？

不足状態で受けられるのが良いと思います。その他に、深呼吸したり、いろんな速さの点滅する光を当てたりします。以前、テレビ番組の「ポケモン」の点滅光で気分が悪くなった子供さんが出た事故がありましたが、これはこの方法を強くしたものと考えられます。脳波検査は長時間（約1時間）かかりますが、痛みもなく危険も少ない検査です。



## 話題の たばこ

### ブルーサークル 11/14(金)

国際連合(国連)は、インスリンの発見者であるバンチング博士の誕生日である11月14日を「世界糖尿病デー」に指定し、世界各地で糖尿病の予防、治療、療養を喚起する啓発運動の推進を呼びかけました。当院でもこの活動のシンボルカラーである「ブルー」を用いたイルミネーションで「世界糖尿病デー」をアピールしました。



## ご寄付をいただきました

このほど、飯田市通り町在住の鈴木利彦様から2点の絵画をご寄附いただきました。1点は、飯田市上郷在住で日本を代表する版画家のひとりである今村由男さんの作品で、「DIAGRAM18-88」と題する約100号の大作です。国際版画展などで数々受賞されている氏の代表作のひとつです。



今村由男さんの作品

もう1点は、同じく上郷在住の代田一行さんの水彩画で平成6年長野県水彩展入選作品の「風越山」です。2点とも1階の受付付近に展示され、潤いのある療養空間の演出に貢献をいただいています。



代田一行さんの作品

## クリスマスコンサート 12/22(月)

玄関ロビーにおいてクリスマスコンサートが開催されました。ボランティアの会によるクリスマスソングの合唱で始まり、5西病棟職員によるハンドベル演奏、飯田交響楽団の「フルーツカルテット」など大いに楽しめました。特に医師による連弾はコンサートを飾るにふさわしい催しとなりました。





## ご案内

### 保険証の提示について

当院では、月に1度、保険証の窓口提示をお願いしております。定期的に保険資格を確認することは、窓口でお支払いいただく医療費を正確に計算するためにとっても重要です。

健康保険の資格はさまざまな理由によって変わります。

- 年齢によるもの……………(小学生になった場合、75歳以上になった場合など)
- 転職または退職によるもの……………(勤め先の経営形態が変わった場合など)
- 所得金額によるもの……………(所得金額により減税を受けている方など)

皆さまにはお手数をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

### シリーズ ● 職場紹介 ● その20

#### 【外来(外科系)の紹介】

当院の外来は、昭和26年に内科を開設以降、本年度4月からは、31診療科を掲げています。しかし、病院を取り巻く環境は日々変化し、産婦人科問題、眼科常勤医の退職、内科系初診患者の制限等、時代の煽りを受けて診療体制は変わりつつある状況です。

そのような中で、私達外来看護師は患者さん1人1人に満足していただける診療の援助と、患者さんが病気を理解し、自己管理ができるような支援を目指しています。特に、外科、整形外科、婦人科、泌尿器科、

形成外科、脳神経外科、皮膚科、麻酔科、放射線科という外科系のチームは、外来通院でがん化学療法が受けられるよう、主治医と共に、研修を受けた看護師が中心となって、治療のサポートを行っています。また、手術を受けられる患者さんとそのご家族には、手術前の検査や手術に関する説明、入院に際してのご案内やオリエンテーションなどを通じて、気軽に相談できる雰囲気

づくりに努めています。

今後は、患者さんを中心に、地域における看護の連携も大切にし、外来看護における専門性を発揮したいと考えています。



### 新任医師の紹介

平成20年10月～12月



**外科**  
**福島 優子**  
(ふくしま ゆうこ)  
平成16年卒業  
平成20年10月1日着任  
前勤務病院  
信州大学医学部付属病院



**形成外科**  
**大坪 美穂**  
(おおつぼ みほ)  
平成18年卒業  
平成20年10月1日着任  
前勤務病院  
信州大学医学部付属病院

### あ と が き

新しい年を迎え、正に激動の時代、地域の中で飯田市立病院の果たす役割が益々重要になってくると思います。飯田市立病院ニュースもタイムリーに情報を発信し、地域の皆さんと課題を共有し、次号が楽しみになるような紙面作りに努力したいと考えています。

編集委員 玉置洋一